日衛連NEWS

Japan Hygiene Products Industry Association

発行 /(一社)日本衛生材料工業連合会

特集

花粉にはマスク!

花粉のシーズン到来、マスクで対策しましょう!

【目次】

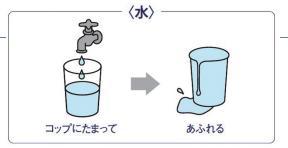
- ■花粉によるアレルギー反応は、どうしておきるの?
- ■ある日、突然花粉になやんでしまう訳
- ■マスクで花粉対策を
- ■花粉捕集機能を備えたマスクを選ぼう
 - JIS 適合番号が表示されている場合
 - 全国マスク工業会のマークがある場合
 - JIS 適合番号表示と全国マスク工業会のマークが両方ある場合
- ■マスクにも「品質がある」~「品質」をチェックできる基準「マーク」

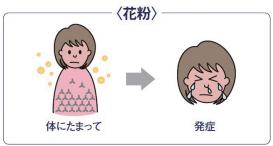
■花粉によるアレルギー反応はどうしておきるの?

花粉症は、スギやヒノキなどの花粉(アレルゲン)に、アレルギー反応を起こすことに起因します。外部から体内に異物(抗原)が侵入すると、体は免疫物質(抗体)を作ります。次に同じ異物が侵入した時、体は免疫機能を働かせて異物を退治しようとします。こうして何度も繰り返すうちに、害のないはずの花粉を異物ととらえ、免疫機能を過剰に働かせるようになります。これがアレルギー反応です。花粉は目や鼻から入りやすいので、洗い流そうとして涙や鼻水をだし、鼻づまり、くしゃみ、目のかゆみなどが起こってしまうのです。

■ある日突然花粉に悩まされる訳

花粉に悩まされるのは、花粉を吸いこむと体内に「免疫グロブリンE」という抗体(IgE抗体)を作る人です。この抗体を持つ人が、子供のころから花粉を吸い続けることで、体内に少しずつ抗体が蓄積され、ある水準を超えると突然花粉に悩まされることになります。例えると、蛇口からコップにぽたぽたと落ちていた水が、あふれだすのと同じです。





■マスクで花粉対策を

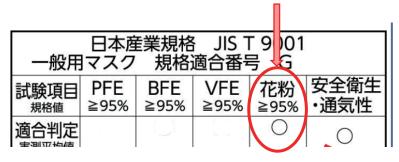
花粉は約30μm(人の毛髪の約1/3)と粒が大きいため、マスクで体に侵入してくるのを防ぐのに効果的です。また花粉に悩んでいない人でも、マスクで日常的に花粉をブロックしていれば、花粉を感じるタイミングを遅らせることも可能になります。「花粉は感じないからマスクは不要」ではなく、「花粉対策としてマスクをする」と考えて、花粉の時期はマスクを着用するほうがよいでしょう。

■花粉捕集機能を備えたマスクを選ぼう

マスクを選ぶ際、花粉を捕集する機能があるか、確認しましょう。マスクのパッケージには、下記の表示が裏面などにありますので参考にしてください。

(三) 花粉捕集機能があるマスクには、表示があります!

JIS 適合番号が表示されている場合花粉に○がついていれば



(※JIS T9002 適合マスクやN95 マスク等は感染対策医療用ですので花粉対策として適している訳ではありません。)

● 全国マスク工業会のマークがある場合

パッケージに「花粉対策に」や「花粉の季節に」 と記載がある場合は花粉の捕集機能があり、 花粉対策に適していることを示しています。



● JIS 適合番号表示と全国マスク工業会のマークが両方ある場合

JS 適合番号表示の枠内の「花粉」に〇がついていれば花粉の捕集機能があります。 形や機能、サイズ、カラーなど、マスクのバリエーションは増えていますので選ぶ楽し みもありますね。

■マスクにも「品質がある」~「品質」をチェックできる基準「マーク」

肌に触れるものだから、機能だけでなく品質にもこだわりを。「全国マスク工業会・会員マーク」のある製品は、品質や製造管理など安心の商品基準で作られています。このマークはパッケージに記載されているので、購入時に確認してみてくださいね。





そして、性能を細かく知りたい場合は、JIS 適合番号の表示を見ましょう。

提供・ⓒ(一社)日本衛生材料工業連合会・㈱マイナビ